

Type english title in this brackets. 18pt

日本語タイトルを記入. 16pt

名前を記入

所属を記入

令和2年2月7日

要旨

ここに日本語要旨を記入.

Abstract

Please type your abstract in english in this section.

目次

第 1 章 序論	1
1.1 緒言	1
1.2 図表の貼り付け	1
1.3 本文	2
第 2 章 理論	3
2.1 節	3
2.1.1 項	3
第 3 章 実験	4
第 4 章 考察	5
第 5 章 結論	6
謝辞	7
参考文献	8
付録 A 付録の章	9

図目次

(1-1) 短めのキャプションをここに記入	1
---------------------------------	---

表目次

(1-1) 表のキャプションは表の上に表示する。	2
------------------------------------	---

第 1 章 序論

1.1 緒言

まず初めに Qrigaku.cls の 38 行目、39 行目で所属の学府、学科を定義しているため必要に応じて変更すること。本テンプレートにおいては原の味フォントを使用しており、明朝体およびゴシック体の太字を表示することができる。詳細は下記を参照すること。

<https://github.com/trueroad/HaranoAjiFonts>.

文献を引用する場合は `\cite{Kabe2017}` のようにすると括弧で文献を引用できる [1]。文献は引用した順に配列するため、bib ファイルの中の順番は気にしない。複数の文献を引用する場合、`\cite{Kabe2017,Fukushima2019,Kaske12016,Qin2020}` などとするとそのまま引用できる [1-4]。

1.2 図表の貼り付け

図表はキャプションに従って図目次、表目次と自動生成するように設定してある。画像を添付する場合、`includegraphics` で `include` した後、例え



図 (1-1): 画像を添付する場合、このように `includegraphics` 環境を使用する。文字サイズは default で `footnotesize` に設定しているが、変えたい場合 cls ファイル内の `makecaption` の文字サイズ指定を変更すること。

ば`\label{fig:Qrigaku}`としたあと,`\ref{fig:Qrigaku}`とすることで図 (1-1) などと引用できる。図の配置は t(top) か b(bottom) か p(new page) 以外は使用しないこと。[tb] などの組み合わせも ok.

表を書きたい場合は以下のようにする。

表 (1-1): 表のキャプションは表の上に表示する。

メニュー	サイズ	値段	カロリー
牛丼	並盛	500 円	600 kcal
牛丼	大盛	1,000 円	800 kcal
牛丼	特盛	1,500 円	1,000 kcal
牛皿	並盛	300 円	250 kcal
牛皿	大盛	700 円	300 kcal
牛皿	特盛	1,000 円	350 kcal

1.3 本文

文中の代数や文字式、特殊文字などは基本的に数式モード`$ $`で囲んでから書き込む。また、数値と単位の間には`\,`を入れると数値用の空白が生まれる。例えば、`11.5mV` と `11.5 mV`。

改行して字下げする際は二行下げるか最後に`\par`を入れて改行したらよい。逆に改行して字下げしない場合は最後に`\noindent`を入れる。

第2章 理論

2.1 節

2.1.1 項

第3章 実験

第4章 考察

第5章 結論

謝辞

謝辞を記入。

参考文献

- [1] R. Kabe and C. Adachi, “Organic long persistent luminescence,” *Nature* **550**(7676), 384–387 (2017). URL <https://doi.org/10.1038/nature24010>.
- [2] T. Fukushima and M. Yamauchi, “Electrosynthesis of amino acids from biomass-derivable acids on titanium dioxide,” *Chem. Commun.* **55**, 14,721–14,724 (2019). URL <http://dx.doi.org/10.1039/C9CC07208J>.
- [3] S. Kaskel, *The Chemistry of Metal-Organic Frameworks: synthesis, Characterization, and Applications* (Wiley-VCH, Weinheim, 2016).
- [4] C. Qin, T. Matsushima, W. J. Potscavage, A. S. D. Sandanayaka, M. R. Leyden, F. Bencheikh, K. Goushi, F. Mathevet, B. Heinrich, G. Yumoto, Y. Kanemitsu, and C. Adachi, “Triplet management for efficient perovskite light-emitting diodes,” *Nature Photonics* **14**(2), 70–75 (2020). URL <https://doi.org/10.1038/s41566-019-0545-9>.

付録 A 付録の章

ここに付録を書き記す。たとえばプログラムなどを添付したい場合、`\begin{verbatim}`と`\end{verbatim}`で囲むことでその間に入った文章は書いた通り入力される。